



Center of Japan
36° 07' 00" N 138° 07' 00" E

日本のど真ん中
信州辰野町

たつのまち 議会 だより



辰野町イメージキャラクター
びっかりちゃん



辰野町議会

編集・辰野町議会広報編集委員会
発行・辰野町議会
発行日・令和5年5月1日

令和5年度予算案可決

3月定例会・1月臨時会報告	2
総務産業常任委員会レポート	5
福祉教育常任委員会レポート	8
一般質問	10
町民の声	16



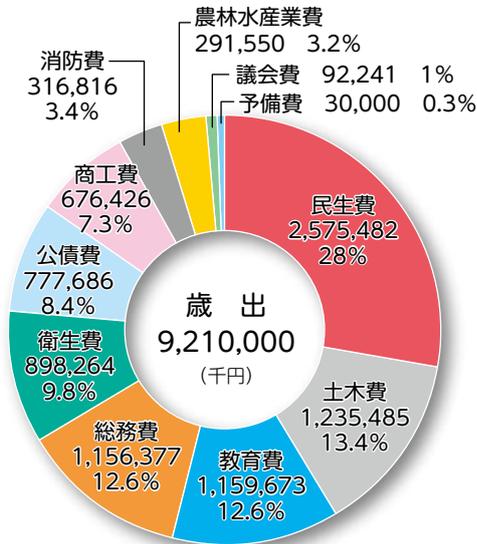
写真 いいまちたつの知らせ隊 川島 (令和4年5月19日撮影)

3月定例会 令和5年度予算など全議案可決

令和5年3月定例会が2月28日から3月16日まで開かれました。

29議案が提案され、全議案を可決しました。以下に議案と質疑討論の概要を報告します。

一般会計予算 過去最大・ゼロカーボンに向けた公共施設LED化など



令和5年度一般会計歳出目的別内訳

<主な歳出と質疑>

●民生費 前年度比 2,033 万円減

- 問** 子どもの居場所づくり事業を委託する条件は。
- 答** 10人以上活動可能なスペースを確保し、様々な支援を行うこと。
- 問** 若手保育士巡回とは。
- 答** 豊南短大の先生が保育園を巡回して相談相手になってもらう。

●土木費 前年度比 7,676 万円増

- 問** 除雪業者の確保は。
- 答** 除雪機の故障で1社が困難となった。町外への依頼も考える。

●総務費 前年度比 3,264 万円増

- 問** デマンドタクシーは今後、町北部はどうなるのか。
- 答** 町営バスとの連携を検討していく。
- 問** 移住者と地域のミスマッチ防止策は。
- 答** 生活を支援するコーディネータの配置も研究したい。
- 問** 住民参加型防災マップ作りが1カ所だけの予算だが。
- 答** 職員の負荷を考え、きめ細かく作成するため。

●教育費 前年度比 1億5,767万円増

- 問** たつのこ学舎を東小にした理由は。
- 答** 西小に学習障がい児対応の職員が付くことになった。自然環境も良い事から東小にした。
- 問** ウォーターパーク跡地のプールとしての利用は。
- 答** 学校のプールをやめてここにという事も含めて検討する。
- 問** 荒神山公園の今後を検討する会議は。
- 答** 町と公園内4施設の管理者が、1月おきに情報交換をしている。



ウォーターパーク跡地

●衛生費 前年度比 1,549 万円減

- 問** 健康ポイント事業に魅力がないが。
- 答** ポイントを利用したイベントや電子マネーの発行など、柔軟な対応をしていく。
- 問** 在宅歯科検診の状況は。
- 答** 毎年40名弱の申し込みがある。コロナ禍だからこそ希望される方がいる。
- 問** 妊婦初期産科受診料助成金の所得制限は。
- 答** 住民税非課税世帯。受診が遅れるケースが多く、早期受診につなげたい。

●農林水産業費 前年度比 4,437 万円減

- 問** 土づくりセンターの現況は。
- 答** 2名体制。設備改修を検討中。飼料高騰で牛糞提供者の経営は厳しく、原料確保が困難。

●商工費 前年度比 932 万円減

- 問** 蛇石キャンプ場活性化は。
- 答** トイレ洋式化、募金箱設置、熊対策で、のぼり旗の設置や巡回を行う。
- 問** ど真ん中プロジェクトへの予算内容は。
- 答** 大城山に仮設トイレ2基設置や、王城枝垂栗線の雑木伐倒や整備を考える。

議員報酬を約3%引上げ

(内容) 特別職報酬審議会の答申に基づき、議員報酬を月額6千円程度引き上げる議案を可決しました。
近隣町村の議員報酬 (人口は令和4年4月1日現在)

町村名	人口	議員定数	議員報酬月額
辰野町	18,124人	14人	227,000円
箕輪町	24,736人	15人	238,000円
南箕輪村	15,969人	10人	221,500円
下諏訪町	18,763人	13人	237,000円

改定後、
233,000円
になります。



辰野町議会議場

かやぶきの館 宿泊料上限引き上げ、入浴料値上げ

(内容)

指定管理者が、より魅力ある料金プランを提供するためと、燃料費高騰に対応するため、宿泊利用料金の上限を引き上げ、大人の入浴料を400円から500円に引き上げる。

(反対討論 吉沢)

議会前に値上げ案内が地元配られたが、議会軽視だ。入浴料値上げは町民には負担増。利用者減少は食堂、売店にも及び、経営改善は疑問。再検討を。

○賛否の判断

議案賛成 松澤、山寺、矢ヶ崎、津谷、池田、樋口、
舟橋、小澤、小林、古村、向山

議案反対 吉沢



かやぶきの館

災害時等、オンラインでの委員会参加が可能に (議員発議)

感染症や大規模災害で議員が委員会に来られない場合、オンラインでの出席を認める条例に改正。

その他の主な議案・審議結果 (全会一致で可決)

議案名 (略称)		内容
予算関係	令和5年度 各特別会計予算	上水道、下水道、国民健康保険、国保診療所、後期高齢者医療、辰野病院、情報告知システム、介護保険 *企業会計は収益的支出・資本的支出の合計 特別会計合計 98億5,741万円
	令和4年度一般会計補正予算 (第12号)	4,734万円増額 湯にいくセンター赤字補填330万円、障害者自立支援給付4,600万円、除雪費500万円、非課税世帯特別給付費▲1,700万円 等
改条例	国民健康保険条例の一部改正	出産一時金を48万8千円に8万円増額
	課設置条例の一部改正	「子育て応援課」を新設
その他	荒神山町民体育館工事請負契約の変更	既存火災報知器部品交換等により333万円増額
	中の橋補修工事契約の変更	充填接合剤の注入量増工により1,185万円増額
	債権放棄	行方不明等で徴収できない水道料 (2件573,673円) と辰野病院診療費 (45件3,594,858円) の債権放棄を承認
	議会個人情報保護条例の制定 (議員発議)	個人情報保護法の改正に伴う議会における個人情報の保護

陳情 「私たちはこのように討論、判断しました。」

陳情		委員会	本会議	意見書
陳情第1号	国土交通省告示第98号の履行に関する陳情書 提出者 県建築士事務所協会	採択	採択	なし
陳情第2号	最低制限価格の設定に関する陳情書 提出者 県建築士事務所協会	採択	採択	なし
陳情第3号	耐震診断・耐震改修に関する陳情書 提出者 県建築士事務所協会	採択	採択	なし
陳情第6号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 提出者 上伊那地区労働組合連合会	不採択	不採択	なし
	【陳情に賛成 吉沢】生活保護並みの賃金で働く方が多く、労働者全体の賃金底上げのために全国一律最低賃金制度をつくるべきだ。地域別最賃制の国は日本を含め世界で4カ国だけで改善が必要。引上げのため、中小企業や農林業への支援拡充が求められる。			
	【陳情に反対 小澤】国は、現在最低賃金の引上げに向け、全国加重平均が1,000円になることを目指して、中小企業、小規模事業者の生産性向上等のため様々な支援を行っている。このことにより年々最低賃金は上がっている。従って、委員長報告の不採択に賛成。			
陳情第7号	日本政府に「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」の提出を求める陳情書 提案者 辰野平和のつどい実行委員会	不採択	不採択	なし
	【陳情に賛成 向山】核兵器は存在そのものが人類共通の脅威、絶対悪だ。我が国は核の傘、日米安保の枠を超えて、核廃絶への国際的世論の先頭に立つべき。上伊那8市町村で採択していないのは辰野町だけ。核廃絶の町民の願いを受け止める議会であってほしい。			
	【陳情に反対 舟橋】本条約には核保有国が署名しておらず、非核保有国との分断拡大が危惧されている。日本がとるべき立場は本条約を批准するのではなく、核保有国と非保有国の橋渡しを担い、困難な問題について双方の対話を促し、核軍縮を進め核廃絶に導くことである。			

【陳情の賛否は以下のとおり（敬称略）】

- 陳情第6号 （陳情に賛成）吉沢、山寺、向山
（陳情に反対）松澤、矢ヶ崎、津谷、池田、樋口、舟橋、小澤、小林、古村
- 陳情第7号 （陳情に賛成）吉沢、小林、向山
（陳情に反対）松澤、山寺、矢ヶ崎、津谷、池田、樋口、舟橋、小澤、古村

臨時会の報告（1月24日開催）

2議案を、全会一致で可決しました。

●令和4年度一般会計補正予算（第11号）

8,866万円増額

- ・子育て応援課新設に伴う庁舎1階の増改築 1,722万円
- ・荒神山体育館改修工事増工 2,700万円
- ・集会所エアコン設置補助 500万円 など

●北沢東地区排水管布設工事請負契約の変更

99,000円増額

- ・渋滞対応のため、交通誘導員配置時間を拡大



総務産業常任委員会

～付託議案は全て可決～ 事業会計・特別会計予算審議



委員会審査

◆議案第2号 辰野町上水道事業会計予算

安心、安全で廉価な水道水の安定供給のため、施設の適正な維持管理等計画的に進める。

(主な事業)

- ・七蔵寺緩速ろ過池浄水場ろ過砂充填工事
- ・横川踏切下 配水管改良工事
- ・簡易水道事業
(膜ろ過新增設工事他 川島地区他)

◆予算額 8億4,655万円

前年度比 8,219万円増

内、一般会計繰出金 2,347万円

前年度比 95万円減

問 水道経費削減策に空調メーカーの発電ノウハウを利用しては。

答 研究をしてみる。



辰野水処理センター

◆議案第3号 辰野町下水道事業会計予算

生活基盤インフラの安定した下水処理推進のため、施設の長寿命化事業を計画的に進め、良好な水環境の保全を継続する。

(主な事業)

- ・下水道ストックマネジメント関連事業
- ・辰野水処理センター耐震・改築事業

◆予算額 19億2,375万円

前年度比 1億4,361万円増

内、一般会計繰出金 5億2,981万円

前年度比 0万円

◇質疑 特になし。

◆議案第8号 辰野町地域情報告知システム特別会計予算

供用開始から12年目を迎え、システム終了まで残り3年となり、安心・安全な町民生活に寄与するため、必要な情報・緊急情報の確実かつ迅速な伝達に努める。

◆予算額 1,402万円

前年度比 60万円減

問 システム終了後の考え方は。

答 スマートフォンなどの活用について、町民アンケートを実施し、令和5年度内に方向性を出していく。

◇採決の結果 議案第2号、第3号、第8号について、特に異議はなく委員全員一致で可決すべきものと決しました。



12年目を迎える基地局
ボックスとアンテナ (大城山)

町長への要望

1. 災害に強い町を目指すために、災害対策本部、区、消防団、赤十字奉仕団、社会福祉協議会、自主防災組織、防災士、辰野助け隊（TTT）、各ボランティア等の位置づけや役割を整理し、明確にした防災ビジョンを作成し公開すること。

町長 来年度、辰野町地域防災計画を16年ぶりに全面改訂する。その計画には、災害への備え、関係機関と住民が相互に協力し災害応急活動を行うための役割や具体的な行動、対策を明らかにする。策定後はホームページに公開し周知する。



2. 災害時の司令塔となる防災センターを設置すること。

町長 現在は災害発生の都度、庁舎内に機材等を備え、災害対策本部を立ち上げ対応している。庁舎が被災した場合を想定し、別の拠点となる施設が必要と感じているため、既存施設の多目的利用も含め、今後研究する。

3. 防災活動の担い手となる地域に精通した、地区防災リーダーを育成すること。

町長 防災の原則は「自助」・「共助」・「協働」であり、地区防災リーダーの育成は大きな課題。当年度から始めた「災害支援チーム TTT」への登録は伸び悩んでいるため、防災意識高揚のため、防災に関する勉強会を開催する。

条例等審査

議案第13号 辰野町使用料条例の一部を改正する条例

◆趣旨 辰野町食の健康拠点施設の使用料について、指定管理者がより魅力ある商品プランを柔軟に提供できるようにするため、条例の一部を改正するもの。

◆内容 辰野町食の健康拠点施設（かやぶきの館）の最大宿泊利用料金と入浴料金を値上げする。

宿泊利用料金	改正前	改正後
1人・1泊2食付 サービス料込み	(上限) 16,000円	(上限) 29,800円

入浴料金	改正前	改正後
一般（大人）	400円	500円

※子ども料金は変更なし
施行日 令和5年5月8日から

◆主な質疑

問 なぜ、宿泊料金を値上げするのか。

答 秋口の川島産マツタケをふんだんに使って集客し、施設売上げの増加とマツタケの里ブランドを売り出したい。



期待されるマツタケ

問 ターゲットユーザーは。

答 茸の季節であれば、内容に一段上の満足を求める客層。

問 なぜ、入浴料金を値上げするのか。

答 灯油など燃料代高騰に対する収支改善のため。

問 灯油代はいくらを設定しているか。

答 1リットル 97円。

問 入浴料金値上げにあたり「町民割引き券」他、「町民や高齢者値引き」の措置はあるか。

答 今後の情勢の変化に応じて対応していく。

問 温泉でない、かやぶきの館入浴料金の100円値上げは、近隣の温泉施設と比較すると利用者が減ると予想するが町の考えは。

答 100円値上げ分は他のサービス、例えば、食事とセットとして付加価値をつけるなどを検討していく。

◆意見 指定管理者は地元の川島地区と意見交換を密にし、販売協力関係を構築してほしい。

議案第26号 債権の放棄

◆趣旨 水道料金の債権放棄について、地方自治法第96条第1項第10号の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

◆内容 水道料金の債権を放棄する。

- ・債権金額 573,673円
- ・債権放棄件数 2件
- ・未納月 平成17年1月から令和2年11月
- ・債権放棄の理由 本人死亡、親族相続放棄および自己破産で回収不能と判断。

◆質疑 特になし

◆採決の結果 議案第13号、第26号について、特に異議はなく、委員全員一致で可決すべきものと決しました。

陳 情 審 査

◆陳情第 1 号

国土交通省告示第 98 号の履行に関する陳情書

◆陳情第 2 号

最低制限価格の設定に関する陳情書

◆陳情第 3 号

耐震診断・耐震改修に関する陳情書

◆この陳情 3 件は、令和 3 年 12 月定例会に提出された陳情書と件名・提出者・趣旨は同じであり、すでに採択されています。このことから、反対意見は無く、全員一致で採択すべきものと決しました。

◆陳情第 6 号

「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

◆趣旨 政府に対し、最低賃金法を全国一律に改正することと、中小企業や農林水産業への支援を抜本的に拡充・強化することの意見書の提出を求める陳情。

◆審査における主な意見

- ・気持ちはよくわかるが、地域間や企業間の格差はあり続けるため現実的でない。
- ・最低賃金を上げることにより立ちいかなくなる中小企業もある。
- ・最低賃金を全国一律に改正することには無理がある。

採決の結果、賛成意見はなく委員全員一致で不採択すべきものと決しました。

◆陳情第 7 号

日本政府に「核兵器禁止条約への批准を求める意見書」の提出を求める陳情書

委員会審査に、提出者から出席し説明したい旨の申し出と、2 名の方から傍聴を希望する申し出があり、これを許可しました。

◆趣旨 長野県内では趣旨採択を含め 60 の市町村が意見書提出の採択をしている。日本は唯一の戦争被爆国として、政府に対し核兵器禁止条約の批准をするよう意見書の提出を求める陳情。

◆審査における主な意見

- ・核兵器がなくなることを皆が望んでいる。一方で日米同盟に国民の安全を頼らざるを得ない現実がある。
- ・周辺国の脅威からパワーバランスを保つための自国での対抗手段がない。
- ・理想と現実の政治を直視すべき。安保条約がある限り非現実的。
- ・お互いの話し合いで平和になれば良いが、非常に厳しい現状がある。
- ・周辺国からの脅威にさらされている現実に対して、諸外国と交渉をしている国に意見書は提出すべきではない。

採決の結果、賛成意見はなく委員全員一致で不採択すべきものと決しました。

現地調査をした令和 5 年度の主な事業はこれ！

■通学路緊急対策交通安全事業
町道 8 号線工事



通学路にある用水路からの水漏れがひどい状況です。歩道などとあわせて改修します。

新しい水道管に入れ替える工事です。踏切下の大がかりな工事となるため JR に協力を求めます。



■横川踏切付近
軌道下横断管路工事

■辰野水処理センター A-1 系
水処理設備・電気設備改修工事



安定した下水処理のため、施設の長寿命化事業を計画的に進めます。

3月9、10日、教育長担当課職員出席のもとで審査をし、13日現場審査を行いました。

◆議案第4号 辰野町国民健康保険特別会計

少子高齢化の進行を起因として被保険者数が年々減少している。令和5年度は税率を変えずに予算を組み立てているが、令和9年に県の国保税統一目標があり、現在国保運営協議会で税率の見直しをしている。

◆予算額 19億9,641万円

前年度比 2,528万円減

問 人間ドッグ補助金の内訳は。

答 日帰り200人、一泊二日40人、脳ドッグ40人。

◆議案第5号 辰野町国民健康保険診療所特別会計

町内開業医との委託契約で週1回午後のみ診療を実施。受診者数は減少しているが、地域の診療所として継続運営する。

◆予算額 518万円

前年度比 76万円減

◆議案第6号 辰野町後期高齢者医療特別会計

保険料と、保険料を財源とする納付金、保険基盤安定制度などの負担金が主なもの。

◆予算額 3億3,289万円

前年度比 1,982万円増

問 後期高齢者の医療保険の利用率が2割負担となったが予算への影響は。

答 あくまでも負担割合なので、予算計上への直接の影響はない。後期高齢者4,313人中867人が対象。

◆議案第7号 町立辰野病院事業会計

発熱外来や陽性患者の入院受入、ワクチン接種等、新型コロナウイルス感染症が病院運営に大きな影響を与えた。一般会計からの繰入金は3億9,500万円で前年度より500万円減額。

◆予算額 25億7,153万円

前年度比 5,222万円増

問 繰入金の減額は、借入金を少なくしたのか、借入の必要がなくなったからなのか。

答 計画的に医療機器も緊急度の高いものから購入している。借入額が少なければ一般会計の繰入金額の基礎となる数字が小さくなる。

問 宮木泉水の医師住宅の利用状況と今後は。

答 現在8戸中、6戸に入居。老朽化している。

◆議案第9号 辰野町介護保険特別会計

介護予防、日常生活支援、認知症総合支援、成年後見制度運営が主な事業。

◆予算額 21億6,709万円

前年比 4,859万円減

問 地域包括支援センターの現状と課題は。

答 社会福祉士、主任介護支援員、保健師が必要だが社会福祉士が欠員、次年度は補充できる見込み。サービスの提供に必要な資格職の配置が課題。人材確保が最優先課題。

◇採決の結果

特別会計、事業会計予算の5議案について委員全員一致で可決すべきものと決しました。

条例等審査

◆辰野町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

◇趣旨 民法及び児童福祉法における懲戒権に関する規定が削除されるため。

◆辰野町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

◇趣旨 放課後児童の安全確保に関する計画の策定に係る規定を加えるため。

◆辰野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

◇趣旨 民法及び児童福祉法における懲戒権に関する規定が削除されるため。

◆債権の放棄について

・債権の名称 町立辰野病院診療費一部負担金

・債権放棄件数 45件

・債権の金額 3,594,858円

◇採決の結果

条例等4件は、委員全員一致で可決すべきものと決しました。



委員会審査

出産子育て支援の拡充に期待を込めて町長に要望

1. マタニティ・子育て応援事業においては、きめ細かに妊婦、子育て世代に寄り添った伴走型相談体制の構築と、使いやすい、負担軽減のための経済的支援の重層化を。

町長 従来の切れ目のない相談体制から、次年度は伴走型支援体制へと充実を図り、マタニティ子育て応援金に町独自の出産準備金と出産祝い金を加えた経済支援を実施する。

2. ママサポートタクシー事業、低所得の妊婦初回産科受診料助成金については、利用対象や期間の幅を広くすること。

町長 ママサポートタクシー事業は陣痛、破水など緊急時の移動手手段の確保が目的で、所得制限は設けない。妊婦初回産科受診料助成金は国の基準に基づく。

3. 子育て応援支援に関わる周知を、HP、パンフレット、ほたるチャンネルなど活用して、迅速にわかりやすく伝え、町全体で子育てを応援していく姿勢をアピールすること。

町長 支援事業については、HP、ほたるチャンネルで周知するとともに、支援対象の家庭にパンフレットを配布予定。

4. 子育て応援課の新設にあわせて、庁舎内に授乳やおむつ交換等ができるマタニティルーム設置の具体的な検討を進めること。

町長 授乳室等については来年度、庁舎施設活用のプロジェクトチームを立ち上げ検討する。



現地調査をした令和5年度の主な事業はこれ！

《公共施設で照明のLED化》

令和5年度は地球温暖化防止・ゼロカーボン推進のために多くの公共施設で照明のLED化が進められる。

■辰野図書館 照明LED化改修工事



■パークセンターふれあい 照明LED化改修工事



主なLED化予定（5年度予算）

- ・小中学校体育館
- ・町民会館
- ・ほたるドーム
- ・辰野町社会体育館

■東小学校第一体育館 床改修工事



床全面の塗装では、研磨をかけてからウレタン塗装をします。今後はワックスがけが不要になります。あわせて照明のLED化も行います。

今年度実施予定の事業力所を視察し、いずれも全員一致で認定すべきものと決めました。

一般質問には11名の議員が登壇いたしました。ぜひ各議員の内容をご覧ください。

ホテルが飛び交う自然豊かなまち		
太陽光発電施設建設について	樋口	P10
辰野町の森林について	樋口	P10
住宅太陽光発電施設の普及について	吉沢	P11
サービス業的公共施設の管理について	吉沢	P11
荒神山公園の今後について	池田	P11
有機農業推進の町宣言について	池田	P11
板沢地区最終処分場建設計画について	向山	P13
太陽光発電施設設置事業に関連する課題について	向山	P13
森林計画と森林ビジョンに基づく森林経営について	向山	P13
オーガニックビレッジについて	小澤	P13
トビチ商店街について	山寺	P14
有機農業推進宣言について	舟橋	P15
みんなが活躍できるまち		
人口減少対策の取り組みについて	池田	P11
町中のフリースペースについて	松澤	P12
消防団の現状とこれからについて	古村	P12
パートナーシップ宣誓制度について	向山	P13
看板商品創出事業について	山寺	P14
地域活性化センターの活用について	小林	P15
地域おこし協力隊への支援について	舟橋	P15
いつまでも健やかに暮らし続けられるまち		
療育施設整備の進捗状況について	樋口	P10
物価高騰・コロナ禍の家計応援、事業者支援について	吉沢	P11
家庭での介護について	松澤	P12
辰野病院の当面の課題について	向山	P13
低出生体重児支援について	津谷	P14
ヤングケアラー支援について	津谷	P14
次代を担う人材が育つまち		
子育て支援の環境と親子の居場所について	樋口	P10
子どもの権利条例の制定について	樋口	P10
小中学校給食費の無料化について	吉沢	P11
子育て応援体制について	向山	P13
川島小学校について	小澤	P13
少子化対策と子育て支援について	山寺	P14
川島小学校の統合に向けての2年間計画とこれからの「学校あり方検討委員会」の立ち上げについて	小林	P15
活力と魅力ある仕事のあるまち		
かやぶきの館の今後について	小澤	P13
荒神山にオアシス型スマートインターチェンジ設置について	小澤	P13
かやぶきの館の今後について	山寺	P14
町内の農地集約化について	舟橋	P15
安全で快適に暮らし続けられるまち		
大雪の対処について	松澤	P12
町民への情報伝達について	古村	P12
児童の通学時安全確保と渋滞緩和	古村	P12
犯罪被害者支援の推進について	津谷	P14
デジタル回覧板の導入推進について	津谷	P14
第6次総合計画3つの重点テーマの1つ「町民と行政が一体となった道路改良」を進めるとは	小林	P15
辰野バイパス期成同盟会について	舟橋	P15



子ども権利条例の制定を

町長 子どもの尊厳を守る

太陽光発電の現状

問 施設設置を許可制、条例違反には罰則を。

課長 国も条例違反は法令違反との見解。法的措置も視野に入れて対応する。辰野町の条例は厳しいので、今後は状況を見極める。

子育て支援と親子の居場所

問 保育園から認定こども園への移行は。

課長 人材育成の面で課題があるが、子育て支援の面からも今のニーズに合っているかと。保育所型認定こども園への移行は可能だが、現状で保護者のニーズは満たしている。

要望 認定こども園への移行について、さらに検討を。

問 子育て支援センターの立地を再検討しては。

課長 買い物が出来、屋根付の駐車場もあり、便利という声もある。

要望 荒神山プール跡地

への移転と、温泉を利用した通所型リハビリセンターを併設して、子育てと福祉の拠点作りを。



新入園児を待つ新町保育園

児童発達支援センターの整備の進捗は

課長 現在進んでいないが、町内で開所する民間施設とも連携しながら、進めていく。

子ども権利条例の制定を

教育長 子どもの権利とは何かを考え、条約の理念を考え、こども家庭庁の動向を注視する。

要望 子どもを真ん中に置いた施策を。

辰野町の森林について

問 森林整備計画と森ビジョンは。

課長 森林整備計画は5年毎10年間の森づくり計画、森ビジョンは50年先の辰野町の森林の姿を示すもの。

問 今の施策で辰野町のアカマツは守れるか。

課長 ドローンなど新しい技術を活用した施策で対策に努める。協議会で、守るべき森をゾーニングして対策を強めていく必要があるとの意見をもらっている。

要望 災害に強い森づくりを進めること。



学校給食費
無料化
目指せないか



吉沢
みつお
議員

町長

食材値上がり分は補助するが、難しい

問 学校給食は教育の一環。国も義務教育無償の憲法規定に基づき、無償化を目指すとしていた。保護者の学校納入金に占める学校給食費の割合は、町の小学校で67%、中学で56%と大きく、無償化は有効な子育て支援になる。地域農業や商店にとっては重要な市場で、無償化して町の施策に位置付ければ波及効果も大きい。県内21市町村、全国では3割の自治体が無償化している。署名運動も取組まれている。ぜひ無償化を。



川島小学校給食メニュー ほたる丼

教育長 無償化を求める動きが広がっている事は承知しているが、無償化には年8,200万円必要で、財源確保が厳しい。他に必要な教育予算もあるので、慎重に考えたい。

住宅太陽光発電設置補助の復活を

問 電気代高騰と温暖化対策として、町独自の補助制度を復活できないか。

町長 町も温暖化対策の取組みをはじめ、ゼロカーボン事業を準備している。

課長 制度化の可能性はあるが、財政的に厳しい。

家計・事業者支援で商品券配布を

問 忘新年会応援の「ふとっぱら」事業は貴重な成果があったと思うが、①1回5千円以上は、高すぎて使えない ②利用が一部の店に集中する傾向という課題がある。全世帯に、町内で使える商品券を配布できないか。

課長 国、県の交付金や他自治体の動向を見て、検討していきたい。

公共施設管理者への支援のあり方

問 コロナ下の町のサービス業の公共施設管理者への支援を見ると、黒字基調なのに財政支援して黒字を倍化した例や、赤字額を上回る支援で黒字化した例がある。赤字全額補てんをベースにしたためと思うが、見直しが必要では。

課長 コロナ下での町公共施設管理者への支援要綱で支援した結果だ。災害等で指定管理料を見直す時の統一基準は、検討していく。

令和5年度の
厳しい予算とは
何が厳しいか



池田
むつお
議員

町長

義務的経費の増加で課要望に答えられない

町長 一般会計予算は過去最大で、人件費等の義務的経費を含む経常収支比率は77.4%。臨時的経費は22.6%で新たな設備投資や突発的事業配分は限られ、各課要望に答えられない厳しい予算。町の独自性を出し、町が直面する課題解決に向けた予算とし、ふるさと納税制度等による財源確保と、経費の選択と集中を工夫し、町民が未来に夢と希望を持ち、住み続けたい町を目指す。

問 岡山県奈義町の出生率2.95%から学ぶものは。

課長 子育て中の保護者と懇談する取り組みは、非常に参考になる。住民を担い手として巻き込む仕組み作りを研究したい。

ウォーターパーク設置の教訓は

町長 有利な補助金を利用し建設し、平成12年には約2万7千人の利用があり賑わった。

町民に喜んでいただいた施設で、閉鎖の際には、町民から再開の要望があった。閉鎖は苦渋の選択。

課長 三位一体改革による、交付税削減や維持管理費の負担等もあり、730万円の赤字となる。社会情勢の変化や、想定以上のランニングコストの課題が発生した。



再生を待つウォーターパーク跡地

荒神山陸上競技場を練習場に特化し、機能を集約しては

課長 公園内の長寿命化を計画的に行っており、関係団体と協議し意見を踏まえていきたい。



投てきフェンス撤去後の競技場

有機JASと町宣言の違いと課題は

課長 JAS基準の認定を取得したものが、有機農産物と表示できる。町宣言は、長野県の信州の環境にやさしい農産物認証制度の取得を目指していく。栽培面積の把握等の課題をクリアしていく。



松澤 千代子 議員

町主導の辰野バイパス期成同盟会の進捗状況は

町長 準備会と打ち合わせしてから進める

問 除雪のアナウンスで「この捨て方はいけない」だけではなく「ここへ捨ててください」等の丁寧なアナウンスが必要では。

課長 排雪に関して誘導する人員が足りないため、排雪場所のアナウンスはできない。

問 年ごとに体力の限界を感じる高齢者にとって次年度以降の除雪は課題が多い。協力者を募る考えは。

課長 町で委託する除雪は幹線道路だが、オペレーターの高齢化などの問題もあり大変厳しい状況にある。歩道や小路の除雪は、区や町内の協力を求めていきたい。

問 町からの情報受信手段としてスマートフォンが便利だが、高齢者は設定ができないため諦めているケースがある。地域へ出向いて設定や使い方の指導をする予定は。

課長 登録方法や使い方を含め、職員がさまざまな場面で町民のお手伝いができるようスキルアップを図る。また機会があれば、出向く用意はある。

家庭での介護のケアを

問 自宅での介護者に寄り添い、心のケアを。

課長 介護の問題点は、身体的負担、精神的負担、経済的負担と言われている。辰野町においては、昨年12月に行った実態調査の結果、金銭的補助の希望が56%、専門職支援27%、リフレッシュ事業7%だった。初期のケアカンファレンスで介護者の不安に助言できればなお良いので、改善できるところは考えていきたい。

町なかのフリースペースの確保を

問 フリースペースを多くの人が公平に使えるように、臨機応変に無料にしては。

課長 現在ある施設において、現行のかたちで有効利用して欲しい。できるだけ予約をして空いている場所を見つけてほしい。



満員の「茶の間」



古村 幹夫 議員

消防団の役割や定数・組織の見直しが必要ではないか

町長 来年度から見直しに着手する

問 辰野町における防災同報無線の現状は。

町長 放送が聞こえないなどの声がある一方で、うるさいなど、騒音としてとらえる苦情もある。担当課には防災情報の有効な伝達方法について、研究を指示している。

問 問題を解決する手段として、次世代型スピーカー導入の検討は。

課長 様々なタイプがあるようなので、早速詳しく情報収集をして研究をしていく。

問 ほたるネット運用終了後の告知方法について、どのような検討をしているか。

課長 2026年の3月でほたるネットは利用できなくなる。令和5年度に、利用状況把握を目的としたアンケートを実施する。今後DXと関連付けて検討していく。

問 町ホームページの内容充実を求めるが町の考えは。



町ホームページの充実を

課長 掲載情報が古い内容になっていないか、点検をしていく必要がある。掲載情報等の充実や見やすさは、DXの中で工夫を図っていく。

消防団の加入状況は

課長 大変厳しい状況が続いている。加入対象となる年齢の人がいない地域もある。

問 国民保護法による消防の任務遂行のための準備は。

課長 このための準備はほとんどできていない。地域防災計画の見直しも含め、来年度から順次必要な準備を進めていく。

西小学校交差点信号機を歩車分離にする働きかけを

課長 歩車分離にすることにより、様々な影響が考えられる。今後地元区やPTAなどから要望があれば進達をしていく。



パートナーシップ 宣誓の制度化を

町長

県の導入に合わせて
検討



向山
まさひろ
光議員



課長 県では届出がしやすい制度を検討している。町ではさらに、事実婚やファミリー間についても適用を検討していく。

板沢最終処分場問題、解決への打つ手は

町長 湖周組合側には次の一手がない状況。私見として、そろそろ事務方レベルで建設計画の見直しについて検討すべきと考える。



“春”を待つ板沢最終処分場予定地

太陽光発電、事業者倒産後の課題検討を

課長 保守点検管理者の扱いについて今後見直す必要がある。FIT（固定価格買取制度）によらずに、PPA（電力購入契約）による太陽光発電の普及も考えられるので、課題を精査していく。

子育て応援体制、関係課横断して定期的検討を

問 生活困窮・貧困の問題についての対応は。

町長 子育て応援課が窓口となって、各課連携して総合的に対応する。

問 子どもの権利条約の趣旨徹底を。

教育長 子どもの権利条約は学習指導要領になく、深い指導がなかなかできていない。

町長 条約や子ども基本法の理念を共有し、関係課による毎月の定例会も必要である。

コロナ感染症5類移行後の辰野病院の課題は

事務長 流行のピーク時に患者数は伸びたが、今後、患者の激減が予想される。医療従事者の確保、働き方改革も前向きに進めたい。

森林整備計画と森ビジョンの制定による課題は

課長 林業労働力の確保、後継者不足、整備の遅れ、アカマツ林の保全等が課題である。

かやぶきの館に 誘客を図るための 温泉掘削の計画は

町長

約2億円と1年半から
2年の期間が必要



小澤
まさひろ
睦美議員



問 令和5年度末に指定管理期間が満了する、かやぶきの館について、役場内での検討状況は。

課長 既に検討に着手しており、現在の収支状況、来年度の事業等検証している。この施設が農業構造改善事業により建設しており、その原点に立ち返って、令和5年度早々に地元の関係者及び町内の農業者を含めての検討委員会を立ち上げ検討していきたい。

問 かやぶきの館への利用者増を図るためにも、三級の滝までのルート整備が重要と思われる。いつ復旧されるのか。また、側溝作業の実施は。

課長 令和3年8月の豪雨災害復旧工事が、令和5年から6年にかけて実施される。三級の滝への復旧工事は、その2年間は実施することが出来ない。側溝作業は、来年度は、業者が行う。

オーガニックビレッジ構想の推進状況は

問 有機農業に地域ぐるみで取り組む産地（オーガニックビレッジ）を、今後本格的に実施していくためには、有機農業推進の町宣言を行うことが必要と思われる。いつ宣言を行うのか。

課長 明確な宣言というかたちではなく、有機農業実施計画を提出した時点で宣言となる。4月提出の準備を進めており、5月末に式典を計画。

問 実施計画の中に、川島地区全体の有機栽培ほ場の団地化を取入れることは出来ないか。

課長 地域的な合意や、それぞれの耕作者の協力が必要不可欠。今後、他の地区も含め検討していきたい。

川島小学校の統合後の活用は

問 統合後の校舎利用に際して制約はあるのか。

教育長 国庫補助の関係で制約はある。文部科学省は、廃校利用で積極的活用を進めており、地域の実情やニーズに合わせた活用が可能である。



川島小学校

その他

・荒神山にハイウェイオアシスを導入出来ないか

津谷 彰 議員



犯罪被害者支援の周知と推進は

町長 広報で周知を図る。職員研修など町の相談体制を整える



犯罪被害者支援の推進は

問 教育現場における児童生徒への取り組みは。
教育長 それぞれの学年で発達段階に応じて指導の実施をしている。犯罪被害という切り口からも今後、行っていく。
問 犯罪被害者が平穏な生活を営むことを支援するために、支援条例の策定を要望するが。
課長 各種情報を収集し、早期の策定と支援体制の構築に向けて研究をしていく。

低出生体重児の支援は

問 低出生体重児の出生傾向と、町のサポート状況は。
課長 上伊那では、年間約120名前後、出生率は9.5%で推移している。産科医療機関との連携を図る。医療相談や乳幼児検診においては、保護者の気持ちに寄り添い、発育や発達の経過を観察する。成長に応じ柔軟な対応を心がけて相談支援を行う。



リトルベビーハンドブック

問 リトルベビーハンドブックの導入は。
課長 近年、リトルベビーハンドブックを導入する都道府県が増え、長野県も導入に向けた検討を開始した。町として、県に対し早急に導入するよう、働きかけをする。

デジタル回覧板の導入は

問 DX推進の必要性、町HPや公式LINEへの紐付けは。
課長 すべての情報のデジタル化や、新システムの導入は難しいが、回覧文書等のデジタル化の研究を進める。回覧板での情報発信を補完する手段の一つとして、HPや公式LINE等の活用を考える。住民の利便性の向上に努めるため、町の公式LINEの利用について広く周知をしていく。

ヤングケアラー支援は

問 新設される子育て応援課でのヤングケアラー支援は。
課長 子育て応援課が窓口となり、各部署や関係機関と連携して総合的に進めていく。今後の支援の在り方や対策の方向性を見出していく。

山寺 はる美 議員



少子化対策に対する町長の覚悟は

町長 結婚支援にも力を入れる



町長 新年度、子育て応援課を新たに設け、安心して子育て出来る環境づくりを目指す。子育て応援だけでなく、今年度は婚姻数を増やす施策も重要と考え、結婚支援にも力を入れる。

問 女性若者支援事業の中に、結婚支援プロジェクトを設置し、移住婚の取り組み強化を。
課長 移住婚とは都会の若者が、結婚相手を探すために、移住と婚活の2つを同時に進めることをさす。内閣府の調べによると、コロナ感染症の影響によって、東京都内23区に住む20代の内50.9%が地方移住に興味を持ち、結婚については20代の女性34.2%、30代は31.3%が結婚への関心が高まったと言われている。令和5年度は辰野町も移住婚を積極的に取り組む予定。

要望 コロナ禍で、都会の若い人の生き方の流れは地方に向いている。この流れをしっかりと受け止めて集中的に移住婚に力を入れるべき。先送りの出来ない喫緊の課題である少子化対策。肝に命じて取り組んでいただきたい。



看板商品創出事業とは

問 地域独自の観光資源（川島地区）の有効活用をするための、看板商品創出事業とは。
課長 健康志向の女性、ミレニアル世代、移住定住希望者をターゲットにして、松茸里山ツアーと薬膳料理体験プログラムの、2つのツアーを開発し、4月から受け付け販売していく。

トビチ商店街の取り組みは

問 商店街の活性化を目指して取り組んでいるトビチ商店街の未来の展望は。
課長 店舗を更に増やして、子どもから大人まで街歩きが楽しめる商店街を目指したい。

かやぶきの館の今後は

意見 令和5年度早々に検討委員会を立ち上げるとのことだが、早急に方向性は示すべき。

町民と行政が 一体となった 道路改良とは

町長

地元住民との合意形成をし実施できる



問 国道 153 号の歩道の危険性、道路面の凸凹の悪化、冬降雪時の渋滞等についての認識は。

課長 歩行者の安全に向け新町信号機の歩道に赤いポールを設置。道路の凸凹は伊那建設事務所に緊急要望を提出。除雪は、通勤通学に支障がないよう実施している。

問 オリンパス新社屋建設に伴う、道路渋滞の課題は。

課長 平成 20 年から伊北インター付近の渋滞緩和施策、与地辰野線整備計画等を進めている。

問 国道 153 号の周辺住民にとっては対策の効果が見えにくく、夕方の渋滞等が続いているが。

課長 現在も、今後 10 年間の道路網計画を策定し、それに基づき対策を進めている。

問 辰野バイパス期成同盟準備会 7 区からの陳情の扱いは。

課長 国道 153 号整備促進協議会があり、整合性を図りながら、町は事務局として関わる。

要望 国道 153 号の道路改良に向けて、行政からの具体案、町長からの力強いメッセージを。



信州フューチャーセンターの活用は

問 令和 5 年度からの指定管理変更の目的内容は。

課長 女性タウンミーティング等で交流の場が欲しいとの要望を受けて変更。変更内容は営業時間延長、コワーキングスペースの使用料免除である。より利用しやすく、子育て世代が交流する場所を作り上げていく。

要望 駅側への看板、駐車場舗装を実施し、くろもじの会との連携を。

川島小学校の統合に向けた 2 年間計画と「学校あり方検討委員会」立ち上げを

問 廃校が決まった川島小学校の児童と保護者への説明は。

教育長 新学期に保護者との懇談を実施。

問 学校生活に疲れた時、一時的に避難する場所の計画進捗は。

教育長 令和 5 年度から東小学校に設置予定。

要望 学校あり方検討委員会の早期立ち上げを。

辰野バイパス 実現への思いは

町長

国道の計画の中で
位置付けをはっきり



問 町主導による期成同盟会発足は。

課長 町主導の組織があり、これとは別の方面で期成同盟準備会が動いている。準備会の意見を発展させるため、町は事務局として対応していきたい。

町長 良い道路ができれば町が発展的に変わる。協議すべきことはまだまだ多く、国・県に聞きたいこともある。両小野バイパスの件など個別事案と俯瞰的視野に立つべきものと合わせて進めていきたい。

要望 町長のパワーが必要。調整すべきことがあるのは理解するが、皆が同じ方向を向いて進むよう、町が先頭に立って指揮を。

有機農業推進に向けての町の宣言は

問 その目的は。

町長 辰野の環境にやさしい栽培の確立と普及、自然環境の価値を付加したブランドの確立を目指すため。現在、農業振興センターの有機農業推進専門部会にて計画策定中。



問 具体的目標数値は。

課長 長野県の環境にやさしい野菜認証も含め、有機農業に携わる農家数を目標とする予定。現在は有機農業を営む農家が少ないので、まずは数を増やすことが最優先と考えている。

問 農地の集約化との関係は。

町長 農地の集約化を進めるために、農地の選定は大きく関わる。慣行農法による近隣への農薬の飛散等の問題もある。今後、地域計画策定にあたって、慎重に関係者と協議をしていく。

地域おこし協力隊への支援は

問 現在の活動内容は。

課長 現在 8 名。移住定住の推進、多文化共生の実現、関係人口の創出等多岐にわたる分野で活躍。

問 地域と協力隊との間における町の役割は。

課長 協力隊には将来の定住や起業を期待しているので、地域住民の協力や理解を得るための中継ぎ役として努力していく。令和 5 年度は協力隊 OB、OG による支援が整備される予定で、さらに支援体制を強化する。

金澤 文義さん(宮木)



発想の転換をしましょう。「物づくりの企業」誘致ではなく、時流にのった付加価値の高い IT・ソフトウェア・設計業務に特化した小さな会社の誘致です。住宅とコンセントがあれば起業が可能。「空き家対策、若い就労者の増加」若者たちの定住、少なくとも人口減少の歯止めにはなるのでは。「縮み指向」から脱却し外部の知見・情報の取り組みが肝要です。

武井 徳子さん(宮木)



辰野高校の生徒も少なくなり、最近ではマラソンの掛け声も全く聞こえません。寂しいですね。辰野高校の存続を是非とも、と願っております。私的には、家族間でも礼儀や礼節は大切だと思うので、娘家族とはタブレットで連絡を取り合い感謝の言葉を口にしよう心掛けて暮らしています。

上條 美幸さん(小野)



4歳と16歳の男の子の子育てをしながら、高齢者住宅の管理者として働いています。子育ては両親に助けてもらっていますが、医療・福祉・社会保障・子育てと考えることがあります。負担が多くなった今だからこそ、議会でも生活・子育てしやすいまちづくりを考えていただきたい。

新しいスタートに



伊藤 伸一さん(新町)



先日、辰野西小学校四年生向けの木育授業で、森と木の話をしてもらう機会がありました。普段から職場の工場敷地の森林整備や、新町区の先輩方と地区の里山整備に携わっていますが、これからはもっと、次の世代や子どもたちへ森の楽しさや樹木の面白さを伝える活動にも参加して行きたいと思います。

三輪眞佐子さん(平出)



地方議員の「なり手不足」が懸念される時、我が町では定数を越える出馬があり、町政への期待と関心の深さを感じました。この町に住んで半世紀、これからも豊かな自然に包まれ、快適な住み心地のよい、町の魅力にたくさん出会えることが楽しみです。

お詫び

前号において、小山英夫さんは小山英雄さんの誤り、宮原穂浪さんは宮原穂波さんの誤りでした。訂正し、深くお詫び申し上げます。

編集後記

今号は私たちの任期最後の議会だよりとなります。特に「わかりやすいこと」を大切に、表現や配置、色使いなど細部までこだわりながらの編集作業。「議会を身近に感じてもらいたい」その思いが皆様に届くことを願っています。寄稿や写真提供など、ご協力をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。 議会広報編集委員 古村 幹夫

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。議会事務局までお寄せください。